

特別会計・企業会計

工業団地造成事業特別会計が新設され9会計になりました。これは、県と市が共同で香我美町上分地区に工業団地開発を行うものです。県が主体となり開発費用は2分の1ずつの負担です。特別会計を昨年度と比較すると、一般会計からの繰入金金は、特別会計全体で9千8百万円ほど増加しました。

[特別会計]…特定の収入でその支出が賄えるもの

会計名	歳入	歳出	歳入の内一般会計からの繰入金
国民健康保険特別会計	43億6,523万円	43億6,334万円	3億1,007万円
老人保健特別会計	45億8,006万円	46億4,779万円	3億7,744万円
介護保険特別会計	26億323万円	24億9,497万円	3億5,812万円
簡易水道特別会計	2億6,943万円	2億3,427万円	0万円
下水道事業特別会計	5億6,892万円	5億6,108万円	3億4,286万円
農業集落排水事業特別会計	3億638万円	3億638万円	2億5,587万円
漁業集落排水事業特別会計	3,294万円	3,294万円	3,084万円
香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計	81万円	81万円	0万円
工業団地造成事業特別会計(新設)	5,709万円	1,283万円	5,709万円

※一般会計から総額17億3,229万円が繰り入れられました。

[企業会計]…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	前年度繰越金などからの補てん額
水道事業会計	3億9,008万円	3億6,027万円	1億449万円	2億956万円	1億507万円
工業用水道事業会計	4,250万円	2,772万円	0万円	1,842万円	1,842万円

3. 実質公債費比率(3カ年平均)…借金の返済額が自主財源に対し、どの程度かを示した割合。18%以上になると地方債(ローン)の発行は国の許可が必要となります。25%以上になると地方債の発行が制限され、早期健全化団体となり財政健全化計画を作成して国に提出する必要があります。結果的に夕張市のように国から指導を受けるので、できるだけ借金を増やさないようにしなければなりません。

現状と今後の対策…前年に比べ、0.4ポイント(昨年は14位で17.5ポイント)上回っています。原因は、合併以前に旧町村が行った建設事業によるもので、平成20年度は18%、平成21年度は20.8%を超える試算が出されています。また、現在も旧町村の懸案事業が市の課題として残っているため、緊急性のあるものは早期に、それ以外は長期で行うよう毎年事業の見直しを厳しく行っています。



■ 県平均 18.4

1	2	3	4	5	6	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	23	25	26	26	28	29	30	31	32	33	34
土佐市	大豊町	梶原町	津野町	芸西村	中土佐町	黒潮町	北川村	香美市	佐川町	越知町	馬路村	四万十町	室戸市	仁淀川町	香南市	大月町	東洋町	土佐町	大川村	四万十市	田野町	安田町	いの町	高知市	土佐清水市	奈半利町	宿毛市	南国市	日高村	本山村	三原村	須崎市	安芸市
11	12	12	12	13	13	14	15	16	16	16	16	17	17	17	17	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	20	21	22	22	23	23	28
7	3	4	8	0	6	6	0	4	3	4	5	8	2	6	9	0	3	5	6	7	9	0	3	8	8	9	7	4	4	7	4	4	1
健全										準警戒					警戒					危険													

4. 地方債現在高比率…ローンの現在高に対する標準財政規模の割合。250%を超すと警戒、300%を超すと危険となっています。香南市は235.7%で警戒に入っていますが、21年以降は返済額が減少する傾向にあります。借金を増やさないよう建設事業などを縮小し、市の体力をつけなければいけません。

現状と今後の対策…前年に比べ、28.1ポイント(昨年は27位で263.8ポイント)下回っています。今後、町村合併に伴う大型建設事業(ケーブルテレビの光化や消防庁舎、給食センターの建設)が計画されており多額の借金が必要となります。この解決手段として高金利の借金を繰上償還することにより、比率の上昇を抑制していきます。



■ 県平均 258.3

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
本山村	土佐町	芸西村	梶原町	越知町	東洋町	佐川町	土佐町	香美市	いの町	津野町	北川村	仁淀川町	中土佐町	田野町	宿毛市	日高村	黒潮町	南国市	馬路村	大豊町	大月町	四万十市	大川村	香南市	三原村	四万十町	室戸市	奈半利町	土佐清水市	安田町	安芸市	高知市	須崎市
132	140	150	156	167	179	182	184	186	188	189	192	202	202	203	203	207	211	211	213	219	228	231	232	235	238	242	248	251	251	271	297	329	333
2	5	3	4	8	2	0	9	1	9	1	9	0	0	8	9	6	1	2	9	4	4	2	7	7	3	5	1	4	8	7	0	2	0
健全										準警戒					警戒					危険													

5. 積立金現在高比率…貯金の残高に対する標準財政規模の割合。基金(貯金)の積立金現在高に対する標準財政規模の割合を示しています。40%以下になると警戒、25%以下で危険といわれています。今後は合併加算金が減少するので基金を取り崩さなければならないと考えています。

現状と今後の対策…前年に比べ、5.3ポイント(昨年は20位で52.7ポイント)上回っています。19年度から新たに、地域振興を図ることなどを目的にした合併振興基金を創設し、合併特例債をもとに平成25年度までの7年間で、約27億4千万円を積み立てる予定です。今後は、積み立てを増やし、取り崩しはなるべく減らす体質に変えていきます。



■ 県平均 40.6

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
梶原町	馬路村	北川村	芸西村	安田町	奈半利町	田野町	三原村	中土佐町	いの町	津野町	土佐市	黒潮町	仁淀川町	大豊町	土佐町	大川村	香美市	佐川町	香南市	四万十町	本山村	越知町	日高村	東洋町	四万十市	宿毛市	安芸市	南国市	大月町	室戸市	土佐清水市	高知市	須崎市
193	162	158	152	139	129	120	98	97	94	83	77	74	72	72	71	71	64	63	58	51	47	43	42	41	35	24	22	20	19	18	10	7	
1	7	1	2	7	1	8	4	4	7	5	6	3	8	7	5	4	3	7	0	2	1	9	6	5	7	7	5	3	8	8	5	2	9
健全										準警戒					警戒					危険													

市の現状と対策を知る



県内の市町村と比較して市の財政状況は? 県が発表した市の通信簿となる5つの「財政指標」で現状を見てみましょう。

▲危険度のある「財政指標」の項目に対し、顔の表情で危険度を表現しています。

1. 財政力指数…標準的な行政運営を行うために必要な金額を税収などの自主財源で賄える割合。「1」に近いほど自力があり、「0」に近いほど国への依存度が高いといえます。全国平均は「0.55」で香南市は「0.37」と県内では8番目ですが、全国平均とではかなりの開きがあります。

現状と今後の対策…前年に比べ、0.02ポイント(昨年は9位で0.35ポイント)上回っています。原因は、建設事業へ基金の取り崩しを行ったことなどにより、一般会計への繰入金に対前年比で約5億6千万円増となったためです。年々歳出は増加傾向にあり、行財政改革をもとに事務事業の見直しを行い、歳出の抑制に努めていきます。

県平均 0.26

1	2	3	4	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	17	19	19	21	21	21	24	25	25	25	25	30	30	32	32	34	
高知市	南国市	いの町	須崎市	宿毛市	四万十市	土佐市	香南市	香美市	佐川町	安芸市	日高村	土佐清水市	芸西村	室戸市	土佐町	四万十町	黒潮町	田野町	越知町	北川村	仁淀川町	中土佐町	奈半利町	安田町	馬路村	本山村	大豊町	津野町	東洋町	大月町	大川村	三原村	梶原町
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	57	41	40	40	39	38	37	33	32	30	29	28	27	26	25	23	23	20	20	19	19	19	18	17	17	17	17	14	14	13	13	12	

2. 経常収支比率…必ず入ってくるお金に対し、必ず出ていくお金の割合。この比率には、建設事業費・維持補修費などは含まれていません。約7%しか自由に使えるお金がないので、借金をしないと建設などの事業ができなくなっています。

現状と今後の対策…前年に比べ、3.1ポイント(昨年は8位で90.4ポイント)上回っています。財政構造の硬直化が進行し、非常に厳しい財政状況となっています。公共施設の整理統合を行い、維持管理費の縮小や電気料などの経常経費の削減を積極的に行っていきます。



■ 県平均 94.2

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	17	18	19	19	21	22	23	24	25	26	27	28	28	30	31	32	33	34
梶原町	津野町	大豊町	土佐市	仁淀川町	芸西村	馬路村	北川村	大月町	土佐町	佐川町	黒潮町	四万十町	土佐清水市	香南市	日高村	香美市	宿毛市	いの町	三原村	本山村	南国市	越知町	東洋町	大川村	高知市	四万十市	田野町	安田町	中土佐町	安芸市	須崎市	奈半利町	室戸市
69	74	85	87	88	89	89	89	90	90	91	91	92	93	93	93	93	94	94	94	94	94	95	95	95	96	96	96	96	97	98	99	101	101
0	8	0	4	5	0	5	8	3	6	2	4	3	2	5	5	7	2	7	7	9	9	2	7	9	2	5	5	1	6	2	4	9	
準警戒										警戒					危険																		